

炭生館では、“業界最高水準を誇る” 環境負荷の低減を実現しています。

●ダイオキシン類の徹底的な低減●

- 燃焼室での完全分解 (850℃、2秒以上)
  - 急速冷却塔でのダイオキシン再合成防止
  - 活性炭吹き込み式ろ過式集じん器による吸着除去
  - ダイオキシン除去触媒による分解
- ➡ 法規制値の1/500の値を自己上乗せ基準値に設定

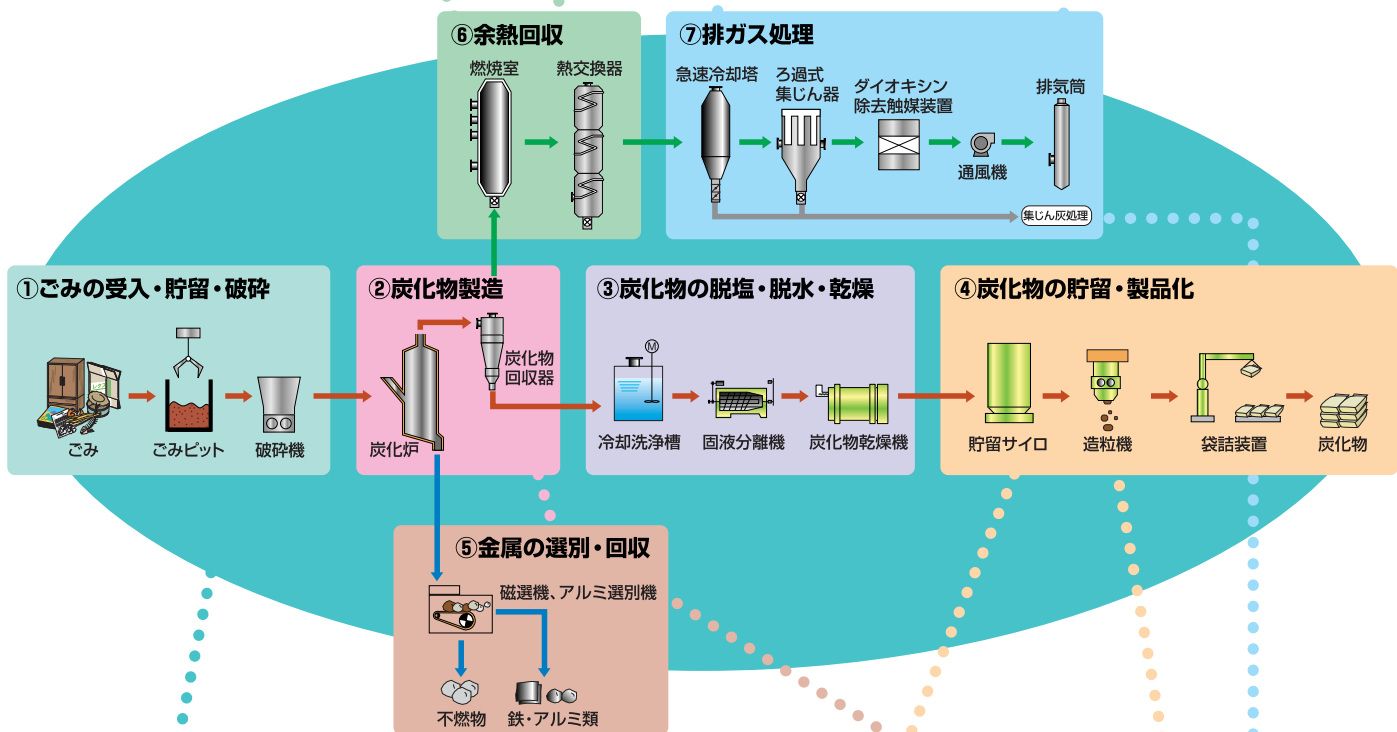
●排気ガスの徹底的な清浄化●

項目	法令等による基準値	自己上乗せ基準値
ばいじん量	0.08g/m <sup>3</sup> N	0.01g/m <sup>3</sup> N
硫黄酸化物	K値 8.76	K値 0.1 (50ppm)
窒素酸化物	250ppm	100ppm
塩化水素	700mg/m <sup>3</sup> N	114mg/m <sup>3</sup> N (70ppm)
一酸化炭素	100ppm	30ppm (4h移動平均値)
ダイオキシン類	5ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	0.01ng-TEQ/m <sup>3</sup> N

(O<sub>2</sub>:12%換算値)

●余熱の施設内での有効利用●

- 白煙防止用熱源としての利用
- 炭化空気加温用熱源としての利用
- 場内暖房・給湯への利用
- 炭化物乾燥用熱源としての利用



●排出水ゼロ●

- プラント排水、生活排水、一部雨水はプラント用水として100%有効利用
- 排水の完全クローズドシステム採用にて、場外への排水ゼロを実現

●地球温暖化防止に貢献●

- 温室効果ガス (CO<sub>2</sub>) の発生源である燃料の使用量を削減しています。
- 炭化炉でのきわめて少ない燃料使用量
  - 炭化物を近隣で利用することで、輸送時の燃料使用量を削減
  - 廃棄物由来の炭化物燃料を有効利用して、製鋼所での燃料使用量を削減

●埋立量の大幅削減●

- 製造する炭化物は100%有効利用
- 未酸化で良質な金属が回収でき、100%有効利用
- 飛灰の埋立量は、キレート剤を使用することによりセメント固化に比べ大幅に削減